

(地方公共団体名)の 概要・特徴等

- ✓ むかわ町は、道央圏の南方に位置し、北海道の経済・文化の中心都市である札幌市や空の玄関の千歳市、海の玄関である苫小牧市にも近く、日高・十勝方面への交通の要衝にあります。面積が、旧鷲川町が164.88平方キロメートル、旧穂別町が546.48平方キロメートル、2町合わせて711.36平方キロメートルであり、細長い地形をしています。
 - ✓ 町民がまちづくりの基本ともなる健康に留意して過ごしていくことを意識して取り組んでいくために「人と自然が輝く清流と健康のまち」の宣言を行いました。
- ※ (人口) 7,789人 (世帯数) 4,099世帯 (2020年9月末)
※ 高齢化率39.7% (2019年)

解決したい地域課題

課題分野：①防災、②福祉・健康

- ✓ 平成30年9月6日に発生した「平成30年北海道胆振東部地震」の教訓を踏まえ、安全・安心な町民の生活環境を守るため、災害や減災に関する各種情報の収集・整理、および町民への発信体制の見直しを図るとともに、地域防災体制の整備など、ハード・ソフト両面から防災・減災対策を推進していくことが重要となっています。
- ✓ 課題①・②においては、避難所での感染拡大防止対策など、新型コロナウイルス対策の観点からも重要な課題となっています。また、高齢化39.7% (2019年) においては、限られた職員による対応には、自ずと限界があり、5GやIoT等のICTや各種データを利活用することが肝要であり、各種解決策を民間企業等から提案を受け、協創を通じた「人と自然が輝く清流と健康のまち」を目指したいと考えています。

解決したい地域課題

- ✓ ハード・ソフト両面から防災・減災対策を推進にあたっては、多くの費用が必要となります。しかし、行財政がひっ迫する傾向が色濃く現れている地方（中山間地域）では、防災対策とはいえとも多くの予算を充当することは難しく、災害監視の観点から機能を担保しながらも、広範囲、もしくは多くの危険箇所の監視を実現することのできる安価なシステムを民間企業等からの提案を受けて、サステイナブルな防災・減災システムを構築を目指します。
- ✓ 当該事業では、むかわ町の地形特性、地域特性を考慮し、
 - ・ 水害等の災害発生状況を監視（予見）するシステムの導入
 - ・ 災害発生状況を考慮した適切な避難行動を促すシステムの導入を中心に、サステイナブルな防災・減災システムを構築を目指します。

ソリューション提案に対するアピールポイント

- 本事業は、総務企画課が、関連課や町内の関係団体等との調整を行い、機動的な体制づくりを推進することができます。